

**T C A**  
— NEWS —

Vol.24 春 号

発 行  
富山市民国際交流協会  
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号  
富山市国際交流センター(市図書館1階)内  
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807  
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



渤海湾西岸に位置し、100年の歴史を持つ秦皇島港

国際港

秦皇島港

秦皇島港は、1898年に開港された。自然条件に恵まれ、水域が広く水深も深い中国北方の不凍良港である。

現在、世界一の石炭出港であるとともに、また、埠頭バスは49もあり世界的総合港となっている。

会員募集

広げよう友情の輪



# 新春国際交流のつどい'99

—ひろげよう 友だちの わッ—

富山在住の中国・韓国・ブラジル・アルゼンチン・パン  
グラデシュ・マラウイ・インドネシア…等々100余名の人た  
ちと1999年も希望に満ちた年であることを願いながら、異  
文化理解の交流会を催し、友だちの輪を広げました。

・と き 2月6日(土) 13時～15時  
・ところ C i Cビル5階 「多目的ホール」



## 日本舞踊「瀬戸の春」で幕が開く

琴の美しい調べと神の使い「美しい白鷺」の優雅な舞いで新春を  
寿ぎました。日本舞踊「瀬戸の春」は、“新春国際交流のつどい'99”  
の舞台のために花柳源香さんが振り付けを創作され、そして、五十  
里雅陽さんが琴の演奏をひきうけてくださいました。



|    |          |    |         |
|----|----------|----|---------|
| 舞踊 | 花柳流師範    | 花柳 | 源香さん    |
|    |          | 笹岡 | 律子さん    |
| 琴  | 生田流正派大師範 |    | 五十里雅陽さん |
|    |          |    | 野口 雅洋さん |

## 京劇「孫悟空」

そのユーモラスな表情で日本及び  
韓国、ヨーロッパ、アフリカなど世  
界の多くの国で愛されている京劇  
「孫悟空」をステージとせまし  
と飛んだり回転したり、剣や輪をあ  
やつたりの熱演は金屏風にはえて  
会場はシーンと息をのんで、そして  
歓声と拍手がわき上がりスバラシイ  
ステージを楽しみました。



## 陳建強さんは

- 中国を代表する伝統演劇・京劇の主演俳優。
- 中国浙江省杭州市出身、13才から京劇を学び舞台歴は20年に及ぶ。
- 西遊記、水滸伝、三国志などレパートリーも広く軽妙な立ち回りと演技力には定評があり、中国で浙江省劇団の主演俳優として活躍、数々の賞を獲得。
- 現在は、富山市在住で舞台公演を続ける他、大極拳の指導者として健康増進にも力を注いでいらっしゃいます。





## 外国人カラオケ大会 審査員はマシンだよ！

出演者がステージへ上がると、サポートがかけついたり、会場からもかけ声や声援がとんだりして、大にぎわいな歌謡ショーとなりました。

審査員のマシンも大困りの様子…？「得点が辛いネ」の声がありました。



出場者たちは、自慢の歌をうたいました。採点の結果、特別賞がペンギンさんから授与されました。

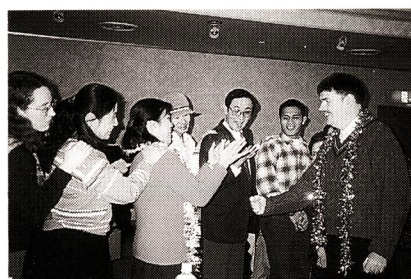
北極のペンギン村から応援にかけつけたペンさんとギンさんは、「アラレちゃん音頭」をひと踊り。会場から、かわいい子どもたちもステージへ上って、握手したり、はしゃいだりと、とてもうれしそうでした。



ペンギンは、協会の内山恵美子さんと廣瀬玲子さん

## 食交流

円テーブルを囲んで、寿司、サンドイッチ、果物などを食べながら会話もはずみました。たっぷり心にも体にも栄養がついて、楽しく、和やかな雰囲気になって親善を深め、交流の輪を広げました。



## ジャンケンゲームで フィーバー！

全員が参加して  
ジェンカをおどる

各テーブル毎にグループを作り、リーダーは首にレイをかけて先頭になり、メンバーは後に一列についてジェンカの曲に合わせて踊りました。曲が止まった時、近くにいたグループのリーダー同士がジャンケンをします。外国の人がリーダーになった時のジャンケン合戦は大変で大にぎわいでした。そして負けたグループは勝ったグループにレイを渡して列の後に着き、長い列になってまた曲に合わせてジェンカを踊ります。これを繰り返して勝グループの順位が決まり、そして賞品をもらって大よろこびでした。

## 立山の美しさに感激

ロベルタ グラジェラ クレッシェンテ メンデス  
(ブラジル モジダス クルーゼス市)

私は、小さい頃から近所の日系人と「ありがとう」「おはよう」など簡単な日本語を話していました。日本に来るためにフライトアテンダントの仕事で退職して来ました。

日本に来る前は、日本のほとんどの人が着物を着て、毎日、寿司や刺身を食べていると思っていました。

日本に来て着物姿を見ないのが意外で、また、若い人たちの髪の色や形におどろいた。

信号に音が付いていたり、歩道の線引きは珍しかった。日本の人は親切でおとなしい。時間を守るし仕事は熱心ですね。

富山に来て立山の美しさは最高でした。そして、「新春のつどい」のステージで司会をしたり、日本髪を結ってもらい、着物を着せてもらったこと大変うれしかった。スバラシイ思い出をたくさんありがとう。忘れません。



## 主催者側のお手伝いをして

鄭 聖都 (韓国)

“新春のつどい”の司会をすることになった。日本に来て1年10か月が経ったが、まだまだ日本語の実力が司会をする程ではなかったので非常に心配だった。

ロベルタさんと共に着物を着せてもらい写真を撮ったり、カラオケ大会に出場したりして、とても楽しかった。

そして、とても不安だったのに無事に終わってほっとした。

これまでも、いろいろな国際交流の集まりに参加してきたが、今回は、自ら直接主催者側のお手伝いをできたことが、たいへん勉強になった。

富山は、米も水も魚もおいしくて自然もとても美しいところです。自分の故郷と似ているのですぐに慣れました。残りの2年間、富山で楽しくガンバってやっていきたいと思う。



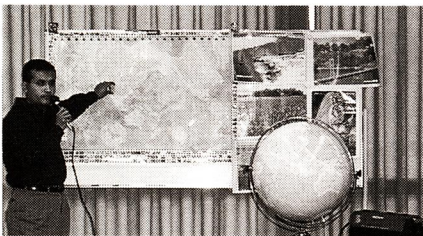
## 地図で歩く世界の旅

### 第4回 アルゼンチン共和国 1月24日 旅の案内人 土居 マリア シルビーナ 秋子さん (県技術研修員)



両親と5人兄弟で日系3世の自分の家族の紹介や、福祉、賃金その他、人々の生活のことや、また、スバラシイ自然についてなど質問に答えたりしながらビックカンントリー「アルゼンチン」を紹介。タンゴのこと、おいしいビーフ・アサードのこと、また、マルデンプラタのカジノ、「悪魔のど笛」で知られる雄大なイグアスの滝、そしてペリト・モレノ氷河などのビデオを観ながら思わずカメラのシャッターを切りたくなるようなステキな旅をしました。

### 第5回 バングラディシュ人民共和国 2月28日 旅の案内人 イスラム オバイドウルさん (富山大学博士課程留学生)



ハキハキとした日本語で最初に話したのは「バングラディシュは貧しい国です」でした。

1947年のインド

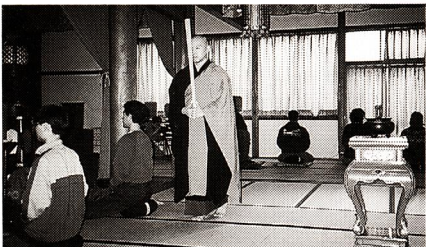
独立、そして、パキスタンから独立したときの生々しい戦争の歴史、不安定な政治、日本の2/5の国土に1億2,000万人の人口、農業国なのに自然災害が多いことなど分かりやすく説明されました。また、美人の奥様ママタス・イスラムさんをモデルにして、独身女性はガミス・セロア、既婚女性はサリー、男性はロンギやバンジャビ・パジャマなど民俗衣装の紹介や日常生活のこと、観光やベンガルタイガーのことなどをビデオや写真も見ながら興味深く多くを学んだ旅をしました。

## 日本伝統文化の紹介

2月20日

### 座 禅

「バシッ」と警策(肩を打つ木札)の音に身が引きしめる。留学生や技術研修員ら40人が参加して、日本の伝統文化に触れました。琴の演奏の後、住職から座禅について説明を受けました。はじめのうちは「肩こりが治るぞ」とか「眠りそうだな」などとジョークも飛んでいたが、いざ、鐘の合図があると「無我の境地」になりました…?



海岸寺 富山市梅沢町

地域交流委員会

## 国際ボランティア入門講座

### —あなたのできるボランティア探し—

国際ボランティアや国際協力に関心がありながら、何から始めていいのかわからない人たちのために活動を始めるきっかけ作りとして、様々なボランティア活動の紹介やその在り方について考える4回シリーズ講座を実施しました。

### 第3回

- ・1月10日 当センター
- ・協力 アジアの仲間の会

ミャンマーの子供達への教育援助を行っている。現地に行ったこともビルマ人に会ったこともないが「たまたまのタイミング」で活動を始めた。資金集めのために護国神社の「のみの市」に出店したりもしている。みんなで無理をしないでそれぞれできるところから協力している。みなさんもこの機会に一步踏み出してみませんか!

### 第4回

- ・2月14日 当センター
- ・協力 日本語教師 原 和子さん

「日本語を教える」とき何から教えてよいのか分からない」という悩みに、自分達のできる範囲でサポートをする学習支援ボランティアをしている。日本語を外国語として考えるための勉強は必要だが、異文化を解り合ったり国際交流の近道となるのでやりがいもあることを学んだ。興味のある方は、まず一度研修クラスをのぞいてみませんか!



第4回国際  
ボランティア  
入門講座

## 第4回 外国人お嫁さん交流会

### 私の国の料理を紹介します

#### タイ 坂本 ナリニーさん

ロン タウチャオ (ココナッツミルク入り煮豆)  
トム カーカイ (しょうがとトリのスープ)

#### 中国 嘉指 タミーさん 胡 恵美さん

馬蟻上樹 (春雨と豚ひき肉の炒め物)

日本の男性と結婚した人、家族で富山に生活している人など外国のお嫁さん達は、お互いにたどたどしい日本語を一生懸命話したりしながらのしく交流しました。



3月11日 エルフ富山

今回はフィリピン、中国、韓国、台湾など20数名が参加しました。

ボランティア委員会



## 友好都市経済交流訪問

大崎和紀当協会理事を団長とする一行6名は1月13日から18日まで、中国の秦皇島市を訪問しました。

秦皇島市表敬訪問のほか、経済界との懇談会や企業視察、対外貿易委員会訪問など経済交流をして親善を深めました。

また、大崎和紀氏は秦皇島市経済技術開発区企業誘致顧問に招聘されました。



## とやま鍋自慢大会'99

韓国キムチ鍋 2月13日～14日  
グリーンパーク吉峰広場

とやま鍋自慢大会'99実行委員会では、だんご汁やクリームシチュー鍋など17種類のあつあつ鍋で寒さをふっとばしておいしい交流をしました。

富山市民国際交流協会チームは、ハングル教室講師姜慶淑さんをリーダーに「韓国キムチ鍋とチヂミ（お好み焼）」で出場し、人気を集めました。



2日間とも  
売り切れと  
なる大盛況  
でした

## お知らせ

申し込み・問い合わせは当協会へ  
TEL42-1109 FAX42-3807

平成11年度

### 富山市民国際交流協会総会

と き 5月16日(日) 14時

ところ 県民会館 3F 国際会議場

- ・総会
- ・記念講演

講師 吉田俊六氏（高岡短期大学教授）

テーマ 「世界で出会った人」

講師は、マーケティング・行動科学・社会環境変化分析の専門家です。調査・研究などで米国・ヨーロッパ・アジアの国々へ出かけた時や日本に在住の外国人や留学生など、多くの出会いを通しての経験をお話していただく予定です。

- ・交流レセプション 16時30分

8F キャッスル 参加会費 3,000円

※多くのみなさんの出席をお待ちしております

### 国際教養委員会各講座ご案内



International  
Speech Academy  
クラス特別例会

講師 宇尾野 逸作氏  
富山国際大学教授

最近世界的な反響を呼んだ「ハンテングトン」の著書「文明の衝突」について基調講話を聴いた後、世界の文明観について座談並びに討論をしました。

国際認識の高揚に有益な研修でした。講話及び座談、討論すべて英語で行われました。

### 受講者募集！

研修場所 当センター  
会費は無料です

（平成11年度講座開講予定）

| 研修講座・クラス名                    | 4月以降の実施時期                              |
|------------------------------|----------------------------------------|
| 【海外視察・教養語学講座】                |                                        |
| 1. 海外旅行・視察英会話入門クラス           | 毎月第2水曜日 6:30～8:00                      |
| 2. 楽しく学ぼう英語クラス               | 毎月第2土曜日 1:00～3:00                      |
| 【日本文化理解講座】                   |                                        |
| 3. 「日本文化を英語で語ろう」クラス          | 毎月第4水曜日 1限5:00～6:00<br>2限6:00～7:00     |
| 4. 日本語ボランティア入門クラス            | 毎週土曜日 10:00～12:00                      |
| 【国際教養専門講座】                   |                                        |
| 5. 通訳・ガイド養成クラス               | 毎月第4土曜日 10:00～12:00                    |
| 6. 時事英作サークル                  | 毎月第2土曜日 10:00～12:00                    |
| 7. 「英語で意見発表・それを聴く」(I.S.A)クラス | 毎月第3火曜日 6:30～8:00                      |
| 【中国語講座】                      |                                        |
| 8. 中国日常会話入門・練習クラス            | 毎月第1土曜日 2:00～4:00<br>及び第3土曜日 2:00～4:00 |
| 9. 中国日常会話初級・練習クラス            | 毎月第3土曜日 2:00～4:00                      |
| 10. 実用中国語検定同学クラス             | 毎月第1土曜日 2:00～4:00                      |
| 【国際教養委員会合同講座】                |                                        |
| 11. 合同研修会                    | 随時                                     |

### 会員のみなさまへ〈会費納入〉のお願い

○会費 1口 個人 3,000円 法人 10,000円

○納入方法

- ・当センター窓口（総会会場でも受け付けます）

- ・振込の場合は 北陸銀行市役所出張所

口座 富山市民国際交流協会  
普通預金 No.4076440

また、会員のみなさまには、協会の方へお立ち寄りの際に、納入いただければ幸いです。



## 中国の旧正月「春節」を祝う 2月14日



自遊館

中国では「春節」(「旧暦のお正月」今年は2月16日)を祝って伝統的な催しが行われます。富山に住む中国の人たちと一緒に喜びを分かち合う「春節を祝う会」が催され、日中交流が行われました。

天から天官(神)が下りてみんなに幸せを与えるというお正月だけに舞うおめでたい舞で幕が開き、中国ビールで乾杯し、中国の人たちの手作りぎょうざや肉まんを祝い、中国語カラオケ大会や紅白もちつき大会でたのしく交流して最後は全員で「北国の春」を合唱しました。



奥田公民館

ボランティア団体「富山・中国ネットワーク」は、富山在住の留学生や研修生らの指導で「ぎょうざ作り」を通して「春節」を祝いました。100余名の参加者たちは、各自が持ち寄った料理も並べて歓談しながら味わったり、歌をうたったりして交流しました。

「富山・中国ネットワーク」は、県内で中国語を学習したり、中国に関心を持つグループが情報ネットワークを作り県内在住の中国人と交流や相談、支援を行っています。

## ひろげようネットワーク!!

### 第4回 富山県国際交流団体 ネットワーク会議

2月16日 とやま国際センター

県内の各国際交流団体17団体が出席し、開催されました。初めにベトナムの学校建設支援をしている「アジア子供の夢」代表 川淵映子さんの活動報告に続き、意見交換が行われました。参加者から「緊急時の援助のための資金プールができないか」「ボランティアの活動拠点が必要」「国際協力団体、グループの把握も必要」などの意見が交わされました。

#### 高校生バーチャル共和国

#### ワークショップ “こんな街どうで省”

高校生や富山在住の外国人ら約30人が参加して『景観とそこに住んでいる人々』をテーマに“誇りのもてる街、みんなが住みたくなる町”について考えました。

イギリス、フランス、バングラディシュ、マレーシア、タイなど出身の参加者たちから、世界の街づくりを聞いた後、グループに分かれて県庁付近や富山駅周辺、松川辺りなどを歩き、富山の街並の良い点、悪い点を話し合いました。



2月7日 県民会館

### 第4回 外国人支援ネットワーク会議

2月25日 とやま国際センター

在住外国人の悩みや生活相談、市民とのトラブルなどをどのように支援するか討議する「外国人支援ネットワーク会議」が、開かれました。

韓国、フィリピン、ブラジル相談員からの現状報告や要望に対し、保健所、病院、職業安定所、教育、弁護士会、国際交流団体など21機関がそれぞれの支援について話し合いました。

各機関では分かりやすい窓口をめざして、外国語パンフレットや相談窓口担当者の外国語入門講座などの取り組み説明や、富山県弁護士会からは、逮捕された外国人から要請があれば、48時間以内に弁護士が無料で接見する当番弁護士制度などの紹介がありました。

## 女性のつばさ報告展

昨年10月7日から11日間、デンマーク、スウェーデンを訪問した第7回富山市女性海外派遣団は、「福祉



施策と家族制度」「高齢化と少子化」のテーマで報告展を開催しました。

当センター

### 編集後記

2月、3月、今年もまた大切な友達を見送りに空港や駅へ何度も足を運びました。出発までの間、みんなおもしろい笑顔で思い出を、そして、いつか会える日のことを話したりしました。手を振って姿が見えなくなるという想いが込み上げてきます。中国へ、バングラディシュへ、スウェーデンへと彼らは帰って行った。富山大学の留学生だったイスラムさんは、「日本に来てびっくりした。思っていた以上の自由で、安全で、物が豊富で先進的で夢のようだった。しかし、国を離れてなおさらに自国を大切に思え、自国のことをしっかりみつめる事ができました。日本でたくさんのことを知ったり、学んだりしました。国へ帰ってガンバります。」と。また、「世界中、どこへ行っても付き合うという人ばかりですね。日本人たちの親切は忘れません。」と、目をキラキラかがやかせて話しました。国と国の橋渡しも人と人とのつながりから... “広げよう 友情の輪” 広報委員長 岡田昌代